

各地区の
デイホームを
紹介しています



デイホーム通信

No.23

デイホームは
おかげ様で
10周年

(明新地区社会福祉協議会)



今年の主役です。



制作の様子



干支の小物作り

明新地区自治会型デイホームでは、毎年11月には布地で来年の干支作りに挑戦しています。全会場の130個分の準備を、地域の小物作りの先生を中心に、デイホームの協力者が集まり行います。まっ白なちりめんには赤いビーズで彩った目、赤いちりめん模様の長い耳を付けければ、来年の干支の可愛いうさぎの出来上がりです。

この干支作りは羊の干支から始まり、今年で9年目を迎え、参加者も協力者も12支が集まるのを大変楽しみにしています。

この明新での干支づくりを、これからも大切に、長く続けて行きたいと思っています。

明新地区専任職員 金子 一美

(森田地区社会福祉協議会)



合同デイホーム

11月5日(金)、健康の森にて、森田地区毎年恒例の合同デイホームが行われました。

地区社協の役員、ボランティアを含め、180名を超える参加者となりました。

最初に、すこやかシルバー病院の看護師長 増田直代氏による「認知症の理解とお世話の仕方」との内容で、認知症の正しい知識と、予防の為に日常生活の中で気をつけることなどのお話を聞きました。

昼食の後は、舞踊クラブさつき会のみなさんによる舞踊と歌謡ショーがあり、利用者皆さんが手拍子をしたり、一緒に口ずさんだりして、楽しい時間を過ごしました。

森田地区専任職員 野路 素子

